

#### 4. 不活化ワクチンと生ワクチンはどう違うのですか

##### 不活化ワクチン

病原菌や微生物によって生産された毒素を、熱処理などにより無毒化したものです。生ワクチンに比べ、免疫の持続時間短く、アレルギーが出やすいです。しかし、動物の感受性やコンディションにより発病の危険性はなく、安全性は高いです。

##### 生ワクチン

病原菌を特殊な培養方法によって弱毒化し、より自然感染に近い免疫力をつけます。不活化ワクチンと比べ早い免疫効果が期待でき、効果も長く持続します。しかし、動物の感受性、コンディションにより発病の可能性があります。

#### 5. ワクチンの種類

##### 犬・8種混合ワクチン(キャナイン8)

犬ジステンパー、犬伝染性肝炎、犬アデノウイルス2型、犬パラインフルエンザ、犬パルボウイルス、犬レプトスピラ病(カニコラ、コペンハーゲン、ヘブドマテイス)

##### ・6種混合ワクチン(キャナイン6)

犬ジステンパー、犬伝染性肝炎、犬アデノウイルス2型、犬パラインフルエンザ、犬パルボ、犬コト

##### ・3種混合ワクチン(キャナイン3)

犬ジステンパー、犬伝染性肝炎、犬アデノウイルス2型

##### ・パルボワクチン

##### ・狂犬病ワクチン

##### 猫・3種混合ワクチン(ヘルパゲンCRP)

猫カリシウイルス感染症、猫ウイルス性鼻気管炎(ヘルパス)、猫汎白血球減少症(パルボ)

##### ・猫白血病ワクチン(フィバキシ FeLV)

##### ・4種混合ワクチン(ファイライン4)

3種+猫白血病

フェレット・3種混合(キャイン3)…ジステンパーを目的とする

#### 6. ワクチン接種プログラム

犬：初年度は2ヶ月齢、3ヶ月齢、4ヶ月齢の3回接種。次年度から年1回

猫：初年度は2ヶ月齢、3ヶ月齢の2回接種。次年度より年1回

フェレット：初年度は2ヶ月齢、3ヶ月齢、4ヶ月齢の3回接種。次年度より年1回

※3ヵ月齢以降で初ワクチンの場合はすべて2回接種→次年度から年1回

#### 7. 接種後の注意点

接種した当日は安静にして激しい運動やシャンプーは避けてください。また、アレルギー反応やアナフィラキシー反応(急性ショック)が起こることがありますので状態を良く観察してください。

仔犬の場合、1度の接種ですぐに免疫が出来ませんので、3回目のワクチン接種を終えてから2週間はシャンプーや遠出のお散歩は控えてください。

アレルギー症状(食欲不振、顔が腫れる、嘔吐、ぐったりする等)がみられたらすぐに病院に連絡ください。

選択